

地域のもりから学ぶ森林づくり 平成23年度 第1回 森林教室

久しぶりに晴れ間の見えた5月24日(火)定山溪小学校と定山溪中学校で、昨年定山溪の森林で採取した種から育った苗木の植え替えを行いました。

植え替えの方法は、独立行政法人森林総合研究所林木育種センター北海道育種場 遺伝資源管理課長に海外での豊かな経験や技術を盛り込みながら、わかりやすく指導してもらいました。

定山溪小学校



みなさん！おはようございます。



植え替えてっ何するの？



昨年種を植えた場所に移動して、作業開始。



植え方の手順を、植田課長がわかりやすく説明。
ポイントは、根の形。



まずは、土作り。6年生が代表して作りました。



今回、植田課長が苗を移植するための道具の作り方を教えてくれました



自分で作った道具を使って、根を痛めないようにポットに移植しました。



お疲れ様でした。
この苗を平成25年まで大事に育てて下さい。
ミズナラ35本、イタヤカエデ39本の苗をつくりました。

定山溪中学校



体育館で、「去年とった種を大きく育てて下さい」



中学校でも道具を作りました。
さすが中学生！技巧を凝らしています。



植田課長から、上級テクニックの伝授
根を上手に分けることが成功の決め手です！



そうはいつでも、結構難しい。



歌川先生の周りにはいつも生徒がいっぱい。



更に上級テクニック。
間引く時は、根が動かないように抜く苗の根元を押さえて引き抜きます。
一番難しいのは間引く苗を決めること。



小さな苗の植え替え、苦労したけどこの笑顔！！



植え替えた苗の状態の違いは、根の状態の違い。
中学生はさすがに科学的な解説です。
ミズナラ47本、イタヤカエデ140本の苗をつくりました。

定山溪小学校、定山溪中学校のみなさん
今日はホントにお疲れ様でした。

今は小さな苗木ですが、ミズナラもイタヤカエデも高さ20メートルを超える大きな木となって定山溪の森林をつくります。この苗木が大きくなって無事に森林に戻れるように面倒を見て下さい。